

# 19. 令和6年度京都府てんかん地域診療連携体制整備事業：

## 拠点病院からの活動報告

京都大学医学部附属病院 てんかん診療支援センター  
センター長 池田昭夫  
てんかん診療支援コーディネーター 林梢  
運営委員 松橋眞生

### 1) 概要

京都府では2022年12月1日付で京都大学医学部附属病院がてんかん支援拠点病院の指定を受けた。京都大学医学部附属病院と京都府立医科大学附属病院、京都府医師会を中心とした医療機関と行政が連携し、府内のてんかん診療の均てん化と標準化に向けて取り組んでいる。本年度は新たな取り組みとしててんかん治療医療連携協議会の委員を拡充し、一般向け公開講座を企画している。

### 2) 診療実績

京都大学医学部附属病院では、てんかん患者様への包括的な医療・福祉支援を目的として2018年11月にてんかん診療支援センターを設置した。関連する診療科、看護部、検査部、事務部による運営委員会を定期的に開催し方策を協議している。

てんかんの専門外来の体制（2025年2月現在）

	月	火	水	木	金
小児科	横山 淳史 吉田 健司			横山 淳史	
脳神経内科	池田 昭夫 松本 理器 小林 勝哉	宇佐美 清英	小林 勝哉	池田 昭夫 戸島 麻耶	松橋 眞生 立田 直久
脳神経外科	菊池 隆幸		菊池 隆幸		
精神科神経科				植野 司	

※精神神経科医師による診察は、脳神経外科診察室での神経心理外来枠にて提供している。

### 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の診療実績

てんかん外来新患数：小児科 30 例/年 成人科 280 例/年

てんかん入院患者数：小児科 60 例/年 成人科 125 例/年

長時間ビデオ脳波モニタリング施行数：小児科 80 例/年 成人科 38 例/年

てんかん外科手術：14 例/年

### 3) コーディネーターによるてんかん相談実績（2024年4月～2025年1月）

毎週月/火/水/金曜日の10-14時にコーディネーター（2024年2月現在、非常勤医師が担当）による相談窓口を設置している。

相談者について（のべ件数）

	本人	家族	医療機関	関係機関	合計
対面	16	5	0	0	22
電話	36	50	7	6	99
合計	52	55	7	6	121

相談内容（のべ件数、主な相談内容）

受診先	31
診断・治療に関する一般的な内容	25
福祉制度	19
就労	12
妊娠・出産	8
運転免許	3
その他	23

#### 4) てんかん治療医療連携協議会

2024年7月に委員の中心となる機関である京都府健康福祉部、精神保健福祉センター、てんかん協会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の関係者が参加し運営委員会を開催。具体的な活動内容の検討を行った。

さらに、警察や教育、就労関係機関を含めて委員の選出を行い、2025年3月5日には協議会本会議を開催予定である。

#### 5) 教育・啓発活動

以下のうち、※の分は、厚生労働科学研究費（難治性疾患政策研究事業）「稀少てんかんの診療指針と包括医療の研究」（今井班）の班会議（2024年11月4日にZoomで開催）で「今井班の班会議メンバーに、多施設において有用な企画は情報提供を行う」提案が承認されたことに基づいて、当方からの情報提供を行なった。

##### (1) 一般の方を対象とした教育・啓発活動

###### ① 府民公開講座

2023年度(2024年3月10日)に初回のオンラインでの一般の方向けの講演会「府民公開講座」を開催し、109名が参加した。本年度は、2024年10月20日に、「てんかんとはどういう病気か?」、「小児てんかん 日常生活での留意点」、「てんかんの薬 薬とうまく付き合おう」の3つのテーマを取り上げ、70名が参加した(添付資料1)。また同講座の録画映像を一般に視聴できるようにしている(詳細については当院HP内に記載<https://u.kyoto-u.jp/oipye>)。

###### ② パープルデーイベント

2024年3月26日に京都府、日本新薬と共催でライトアップイベントを開催した(京都タワー、京都府庁旧本館)。本年度も同施設をライトアップすると共に、京都府北部での啓発活動として中丹東保健所庁舎もライトアップし、同保健所内にてんかん啓発のチラシを掲示予定である。

##### (2) 医療関係者を対象とした教育・啓発活動

###### ① 定例カンファレンス

病院内外の医療関係者を対象に、月1回の脳機能てんかんカンファレンス(京都府内及び隣接府県の多くの病院・診療科連携の症例検討会)、週1回の脳波判読会(院内、京都府内、全国の都道府県の医師を対象)をオンラインで実施している。

###### \*② 京都てんかん診療講演会

医療関係者のweb講演会「京都てんかん診療講演会」を京都府、一般社団法人京都府医師会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の共催で2021年度より開催している。2023年度は2024年3月21日に「てんかんと多職種連携」を開催し111名が参加した。福祉制度を取り扱ったことについて特に良い反響をいただいた。本年度は2025年2月13日に、「てんかんの急性期からのシームレスな対応」をテーマに開催した。京都府北部および南部地域を含む急性期医療に従事する医師およびてんかん専門医医師より講演とパネルディスカッションを行った。179名の参加があり、てんかんの急性期対応についての関心の高さが伺えた(添付資料2)。

###### \*③ Epilepsy web seminar

企業との合同啓発事業として年4回「Epilepsy web seminar」をwebセミナーとして開催している。本年度はこれまでに「女性の抗発作薬の使用上の注意～従前の催奇形性から神経発達障害まで」「てんかんと偏頭痛-臨床で役立つポイント、研究との接点-」「\*てんかん外科手術と脳神経内科医」についての講演を行なった。

##### (3) 啓発資料の提供

京都大学病院てんかん診療支援センターでは、添付のように、院内だけではなく、広く京大病院だけでなく外部のてんかん患者さん及び他施設の診療医、medical staffへの啓発資料、医療関係者への臨床で利用できる資料(45種類)を、PDFでダウンロードできるように提供している。(著作権がある資料は全て本利用のために許可を取得済み) [http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter\\_j/information](http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j/information)

#### 6) 課題と今後の予定

京都府では、医療圏によるてんかん三次診療が可能な専門機関への受診率の偏りが課題となっている。第4回京都てんかん診療講演会で提起された問題をもとに、地域かかりつけ医と専門機関との情報共有・連携を、急性期からのシームレスな対応も含めて、円滑に進められるような様々な枠組みでの対応を検討している。

一例として、てんかん診療地域連携事業とは別の枠組みとはなるが、企業との協力のもと非専門医向けの講演

と相談セッションを設けた「てんかん診療 STEP UP」を行った。整備事業としては、他施設合同カンファレンスへの参加施設の拡充、てんかん相談窓口の有効利用、また第4回京都てんかん診療講演会での議論にもとづき、京都大学医学部附属病院での遠隔脳波診断、遠隔診療の提供に向けて準備を進めている。また、当方の今までの活動を、日本てんかん協会からの依頼原稿としてまとめたものが、2026年3月号の「波」に掲載予定である。

資料 1

京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

第2回てんかんに関する  
**府民公開講座**  
～てんかんと正しく知ろう～

日時 2024年10月20日(日) 13:00～14:00

開催形式 オンライン(zoomウエビナ)

てんかんは赤ちゃんから高齢者まで誰でも罹患する慢性の国民病であり、およそ100人に1人に起こります。また、生涯に渡り1回のみ発作に限れば、10人に1人に起こります。一般の方にてんかんと正しく理解できるよう、専門の医師が解説します。

小児 てんかんって何？ てんかんってどんな病気？ てんかんのお薬って？

左記のQRコードまたは以下のURLよりお申込みいただけます。後日、ご参加用リンクを送付いたします。  
事前登録 URL: <https://u.kyoto-u.jp/wg6b5>  
～ウエビナ | 開始前まで登録可能です。

共催 京都府 京都府立医科大学附属病院 京都大学医学部附属病院  
後援 京都府医師会(申請中) 日本てんかん協会京都府支部

プログラム\*詳細は裏面をご覧ください

資料 2

第4回てんかん診療講演会  
『てんかんの急性期からのシームレスな対応』

日時 2025年2月13日(木)  
18時30分～20時30分

定員 オンライン(Zoomウエビナ)

対象 府内にてんかん診療に関わる可能性のある全ての医療関係者・医療系学生

共催 京都府 京都府医師会 京都府立医科大学附属病院 京都大学医学部附属病院

京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

お申込み  
右のQRコードまたは下記URLよりお申込みいただけます。後日、ご参加用リンクを送付いたします。  
申込URL: <https://u.kyoto-u.jp/wg6b5>  
直前までお申し込みが可能です。

本講演会では、日本医師会生涯教育講座の単位が付与されます

第1部: けいれん発作 1.0単位  
第2部: けいれん発作 0.5単位